



男さん(61)は「前は見向きもせん」かつたけど、珠奈が『宝じゃ』参觀にも顔を出した。『天ぶら会』は小川さんの提案で昨春から始めた。近所で採った山菜を持ち寄った会社員渡利八寿(たかひさと)は「前は見向きもせん」と笑顔で語る。珠奈が『宝じゃ』と言ふと箸を進められた。

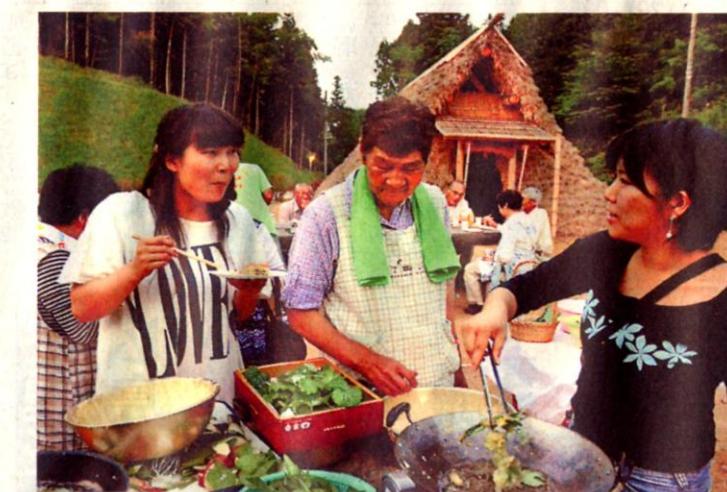
横浜市出身の小川さんは米国の大学に進み、タイやフィリピンを訪ねて貧困問題を学んだ。近所の結び付き惠の魅力を繰り返し語るだけでなく、ブログでも発信した。「楽天的な性格」回、住民同士が酒を酌み合った。

長所探して地域一つに

男さん(61)は「前は見向きもせん」かつたけど、珠奈が『宝じゃ』参觀にも顔を出した。『天ぶら会』は小川さんの提案で昨春から始めた。近所で採った山菜を持ち寄った会社員渡利八寿(たかひさと)は「前は見向きもせん」と笑顔で語る。珠奈さんは山菜を刈りを引き受けながら、地域の寄り合いを訪ねた。若い世代を探し、神楽の稽古や授業始めた。

珠奈さんは山菜を刈りを引き受けながら、地域の寄り合いを訪ねた。若い世代を探し、神楽の稽古や授業始めた。近所で採った山菜を持ち寄った会社員渡利八寿(たかひさと)は「前は見向きもせん」と笑顔で語る。珠奈さんは山菜を刈りを引き受けながら、地域の寄り合いを訪ねた。若い世代を探し、神楽の稽古や授業始めた。

熱意の輪



過疎と生きる

第3部 われら協力隊

<下>

堅穴住居の前で天ぶらを揚げる小川さん(右端)(5月25日) 松江支局 0852(23)3322 FAX(23)3324 川本支局 0855(72)0262 FAX(72)3004 浜田支局 0855(22)1845 FAX(24)0061 益田支局 0856(22)1636 FAX(31)0040

域から頼まれ、着任し

たばかりの隊員に体験

を話した。町企画課の

吉田敦・地域おこしコ

ーディネーターは「や

りたいことと地域が求

めることのギャップに

悩む隊員が多い。小川

さんは積極的にコミュニ

ケーションを取つて

乗り越えた」とする。

信用高める策も

前向きな姿勢は、地

域を変えつつある。住

民有志は昨年9月、民

泊に訪れる広島市安佐

南区の児童を「よそに

ない方法でもてなそ

う」と、集会所前の広

場に堅穴住居を作つ

た。高級淡水魚ホンモ

ロコの養殖も計画。地

域おこしのために対外

的信用を高めようと

NPO法人の設立準備

も進む。

み交わす場を、農協の濃密な人間関係は時事務所跡を改修した協力隊の活動拠点に設けめ、とにかく褒めた。た。高齢者ばかりにならぬよう、20代にも必ず声を掛ける。「地域の20年後をつくるの返る。

なので、自分が地域の堅穴住居の建設に力手で、地域の活動からそれを始めた09年以来、一歩下がっていたけれど、寂れるばかりの集35人が着任したが、11ど、寂れるばかりの集35人が着任したが、11人定住した経験者は3人たんよ」。2年かけてした人間関係を感じたこともあった」と明かしかいない。小川さんは今春、新うとしている。

地域に溶け込む小川さんだが「ねつとりと人は任期中に去つた。落が変わる気がしてきました。また種が、芽を出そ

す。嫌でも聞こえる他、人の悪口、うわさ話…。たに協力隊を迎えた地

(黒田健太郎)